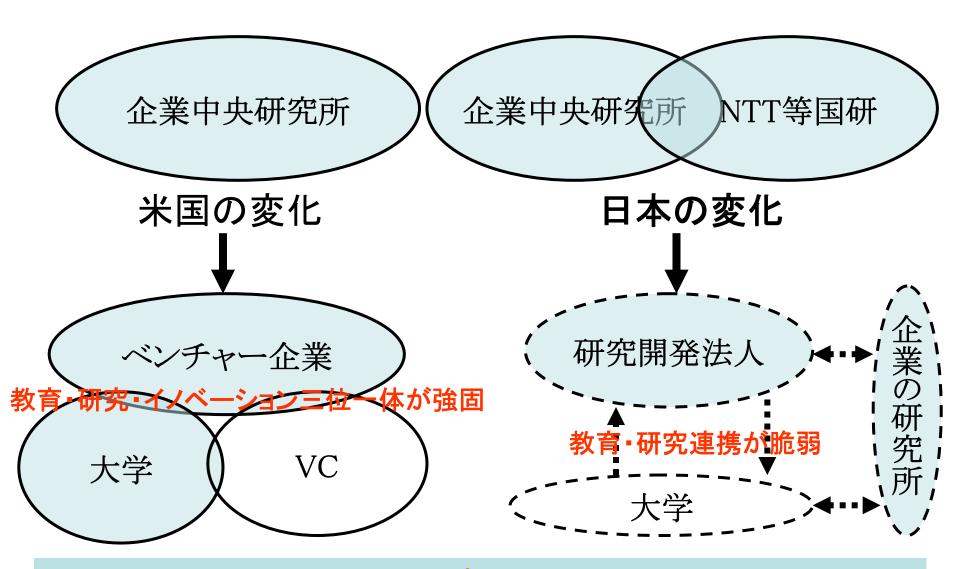
資料2

科学技術·学術審議会技術·研究基盤部会 産学官連携推進委員会産学官連携基本戦略小委員会(第1回) H22.4.26

日本のイノベーション牽引 エンジン構造強化の視点からの 産学官連携基本戦略の提唱

2010年4月26日 柘植綾夫

図1. イノベーション牽引エンジンの変化

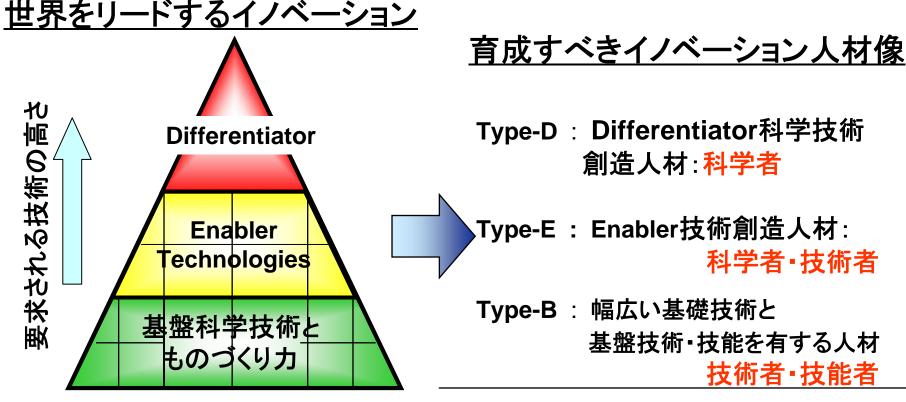


日本のイノベーション・パイプライン・ネットワークは脆弱!

イノベーション・パイプライン・ネットワーク(非線形・確率的性格) 製品A+ サービスa 規制改革 製品B 製品C 製品A' 融合研究拠点の提供 非採用技術 研実応 究用 開化/ 発 「たなプロジェクト 知の創造への立ち返 他技術の 取り込み 目的基礎 研究礎 創造 派生技術 プロジェクトA プロジェクトB 知の創造 技術領域の広がり 研究領域A 研究領域B 出典:柘植綾夫、イノベーター日本、オーム社刊

•研究開発法人・産業の三位一体的連携強化を 製品A+ 融合場 サービスa 製品B 規制改革 製品の 府省間の垂直連携の強化 製品A' 融合研究拠点の提供 知の創造への立ち返 研実応 究用用 開化/ 発 経済的/社会的 自 教育 目的基礎 創造 派生技術 プロジェクト 制度的強化が必要 知の創造 技術領域の広がり 研究領域A 研究領域B 出典:柘植綾夫、イノベーター日本、オーム社刊

図4 世界をリードするイノベーション人材像



Type-Σ: イノベーション構造の縦・横統合による社会経済的価値創造人材

日本はType-Σ人材育成のメカニズムが脆弱!

要求される科学技術のスペクトル

の幅の広がり(人文、社会まで)

図5 イノベーションパイプラインネットワークを構成する人材像



図6 日本の特色を活かした持続可能な イノベーション牽引エンジンの基本戦略

